



収益力のある製材事業・エコリサイクル事業で組合員と協業し、経営資源を最大限活用することにより、共存共栄をはかる。



どんな事業をされていますか？

清水港木材産業協同組合（略称：モクサン）の発足は昭和27年にまでさかのぼる。戦後の木材需要の高まりに対応するために、清水港を活用した原木の共同購入が目的だった。その後、総務を統括部門とし、不動産、エコリサイクル、テクノウッド、製材、プレカットと事業を広げてきたが、現在、組合直営の事業は、①総務部が管轄する不動産事業部と、木材製品の卸売業務を行う業務部、②パーク・剪定枝等の木くず処理、および組合員から排出されるチップ挽粉の共同仕入販売を行うエコリサイクル事業部、③内地材の土木用・梱包用製材を手掛ける製材事業部の3拠点で展開している。

また、かつて組合が運営していたプレカット事業部については、建築業界の厳しい事業環境を見越し、令和5年4月に100%子会社として「モクサンプレカット株式会社」を設立し分社化した。



丸太に傷が付きにくい水圧式皮むき機



製材機 シングルバンドソー



主力製品である土木用材

主力製品を製造するためのツインリッパ

事業の特長や強みは何ですか？

組合員の事業はそれぞれに特長があり、それらを活用できるのがモクサンの最大の強みである。製材事業においては、特殊加工・防腐処理など、自者だけでは対応が難しい案件であっても、他の組合員の力を借りれば受注することができ、柔軟な対応が可能となる。

平成29年に、組合員である製材工場が後継者不足で事業が続けられなくなり、モクサンが事業承継したことがあった。譲渡に当り、工場の経営者の要望は、従業員の雇用確保であったが、両者間で信頼関係が築かれていたのでスムーズに譲渡することができた。工場が保有していた機械設備はもとより、顧客もそのまま引き継いでおり、組合員の経営資源を無駄にせず、有効活用することができている。

代表的な製品、サービス、設備などは？

製材事業は土木用材がメインで、矢板、栈木、バタ角、角坑などを製造し、建設会社に販売している。一方、エコリサイクル事業は、組合員の工場から出される端材や挽粉を収集するとともに、公園や街路樹の整備や開発工事で発生する伐採木や枝葉などをチップとして資源化している。用途は、バイオマス発電用の燃料、堆肥、牛舎の敷料、木質ボードの材料など多岐にわたる。

今後の展望をお聞かせください。

製材事業は、組合員との協業により、ハードルの高い仕事であっても、顧客の要望は断らず対応していくことが基本姿勢である。また、今後需要が見込まれる梱包材のマーケットの開拓も進めていきたい。エコリサイクル事業は、組合員の工場から出る端材の量が多いので、滞りなく処理し資源化することを最優先に取り組んでいく。競合他者の市場参入もあるが、既存顧客は交通アクセスの良さや広い処分場を有し原料を引取る能力が高いモクサンを引き続き利用してくれている。高速道路や街路樹の伐採で発生する材の受け入れは、一度受注すればその後の維持管理で発生する材も継続的に受け入れることができ、ストックビジネスとなっている。このアドバンテージを活かし、今後も安定的に事業を展開していきたい。



エコリサイクル事業部にある大型破砕機



インタビューに答える
大石泰行 総務部部长(左)
東條邦彦 製材事業部
次長(右)
取材日：令和7年1月16日



破砕したチップは自社トラックで各地に配送

清水港木材産業協同組合

代表理事 福島 寛
静岡県静岡市清水区富士見町4番8号（共栄火災ビル2階）
TEL. 054-353-3231 FAX. 054-353-1840
Mail : soumu@mokusan.or.jp
設立：1952年5月
事業内容：木材製品卸売業、木材製品加工業、製材業、産業廃棄物・一般廃棄物処理業（木くず）、不動産賃貸業
組合員数：30者
出資金：10億3491万円
年間売上高：19億円（2023年度）
許認可等：産業廃棄物処分業許可、一般廃棄物処分業許可、産業廃棄物収集運搬業許可
URL : <https://www.mokusan.or.jp/>